

令和5年度

事業報告書

法人本部

特別養護老人ホーム

阿木デイサービスセンター

地域包括支援センター

居宅介護支援事業所

ヘルパーセンター

グループホーム

大井シクラメン

社会福祉法人 敬愛会

令和5年度 社会福祉法人 敬愛会 事業報告

事業概況

年間を通して法人の基本理念「敬愛の心」「地域に愛され、地域とともに」を全職員が再確認し、各種介護サービス及び支援業務のさらなる充実と資質向上を目指し、地域貢献に努めました。ただ、令和5年度はコロナウイルスが5類移行となったものの、まだまだ思うような活動が出来ない中で、感染症予防のための備蓄、職員の感染症に対する意識・行動制限・感染者発生時の対応・各種行事企画の制約・面会制限のご協力等、入居者様・利用者様・職員の安全を考慮する一年となりました。

中津川市の第8期福祉計画に盛り込まれた特養の増床計画については、建設費用の再考や社会情勢による物価高騰などから当初予定の5年度内の竣工とならず、岐阜県並びに中津川市との協議を重ね、年度内に着工するものの遅延事業として遂行するに至りました。

人材育成につきましては、外国人材の技術向上を中心に研修計画を立て施設内研修や勉強会の開催し、その過程において全てのスタッフの技術や知識の向上を図るべく、法人全体として取り組みを行ってまいりました。

法人の取組むべき課題（基本方針）

- 1 利用者や地域住民に評価される質の高いサービスの提供
- 2 サービス向上を支える人材の定着と育成
- 3 経営基盤を安定させ働きやすい労働環境をつくる
- 4 施設機能の維持と新たな事業の展開・拡充に向けた取り組み
- 5 地域社会との連携をさらに強化する

直轄実施事業

地区	事業名	種別	定員	備考
阿木	社会福祉法人 敬愛会	-	-	
	特別養護老人ホーム シクラメン	指定介護老人福祉施設	70	
	同 ショートステイ	指定短期入所生活介護	10	
	デイサービスセンター シクラメン	指定通所介護	40	
	シクラメン ヘルパーセンター	指定訪問介護	-	
	居宅介護支援事業所 シクラメン	指定居宅介護支援	-	公益
	グループホーム しくらめん	地域密着認知症対応型共同生活介護	9	
	同 デイサービス	同 認知症対応型通所介護	3	
恵那	デイサービスセンター 大井シクラメン	指定通所介護	25	
	ショートステイ 大井シクラメン	恵那市基準該当短期入所生活介護	13	
	デイサービスセンター 飯地シクラメン	サテライト型通所介護	10	

受託事業

地区	事業名	委託名	発注者
阿木	シクラメン 地域包括支援センター	中津川市シクラメン地域包括支援センター運営事業委託事業	中津川市
	あんきなくらぶ事業	集中型一般介護予防事業	中津川市
	中津川市介護予防・日常生活サービス事業	通所型サービスC実施委託事業	中津川市

役員構成

役員	定員	現員								備考
評議員	7	7	藤原由久	田並正三	殿島和人	後藤榮子	西尾俊彦	可知幸作	三輪宗弘	
理事	6	6	花田美晴	西村峰一	鈴木弘之	渡邊忠義	今井正子	米住 潤		
監事	2	2	水野泰正	三宅秀雄						

各種委員構成

評議員選任解任委員	構成	現員	委員（外部）		委員（監事）		委員（内部）		備考		
	5	5	後藤初秋		水野泰正	三宅秀雄	水野基己	後藤克己			
GH運営推進委員	構成	現員	利用者家族代表		市職員	地域住民の代表		知見を有する者		備考（GH職員）	
	10	10	T様	M様	原 義雄	鈴木裕子	西尾丸美	三輪宗弘	米住 潤		水野基己

会議開催状況

理事会	定数6	監事2	出席	議題
開催日	5月27日	理事6 監事2	令和4年度事業報告、決算報告、給与規定改正、役員の選任、増床計画など	
	6月24日	理事6 監事2	理事長の選出	
	8月26日	理事6 監事2	増床計画の承認、設計会社の選定、給与規定改正、不動産の購入など	
	10月28日	理事6 監事2	施設整備費借入金、つなぎ資金借入、臨時評議員会の開催など	
	12月2日	理事6 監事2	補正予算、冬季賞与、就業規則変更、	
	3月2日	理事6 監事2	増床工事の入札、JV、臨時評議員会の開催	
	3月23日	理事6 監事2	補正予算、各種規定改正、令和6年度事業計画・予算、入札結果の工事業者契約	

評議員会	定数7	出席	議題
開催日	6月24日	評議員5	令和4年度決算報告の承認、役員の選任、増床計画
	11月18日	評議員6	特養増床に伴う設備資金借入及び担保提供、繋ぎ資金の借入
	3月23日	評議員5	特養増床に伴う入札結果及び建設業者契約承認、工期

評議員選任解任委員会	出席	議題
開催日	開催無し	

監査状況

種別	実施日	監査人	監査事項・指導事項
法人内監査	5月18日	監事	令和4年度決算及び事業報告に係る監事監査
法人監査	2月6日	岐阜県	増床計画に係る施設整備事前監査
施設監査		岐阜県	
介護保険実地指導		岐阜県	介護報酬改定の伴うzoomによる集団指導
その他			

外国人材雇用状況

地区	事業所	出身国	在留資格	年度内異動		年度末在籍者数		監理団体・支援機関	
				入職	退職	男（内訳）	女		
阿木	特養シクラメン	ベトナム	技能実習		1		3	ダイバーシティ	
		ベトナム	技能実習	2			2	亜細亜架橋協同組合	
		ベトナム	特定技能		1		1	ダイバーシティ	
		インドネシア	特定技能	2		4		パーソルキャリア	
	GHしくらめん	インドネシア	特定技能					6年度雇用予定	
大井	DS大井シクラメン	インドネシア	特定技能					6年度雇用予定	
			計	4	2	4	6	10	外国人材合計

特記事項

<p>※増床の設計見積の段階で建築時の自己資金、増床後の運営益・人件費・返済計画などを再検討した結果、計画を一時中止し建築面積及び増床数を調整するに至る。ユニット型から従来型15床へ計画変更し、岐阜県・中津川市と再協議した結果、今年度の単年度事業として再申請するに至る。</p>
<p>※能登半島地震により被災した介護施設へ応援職員を派遣（5年度分） 4月以降も要請に応じ派遣継続 1月22日～26日：看護師1名を特養ゆきわりそう（輪島市門前町） 全国老人福祉施設協議会からの要請 3月3日～8日：看護師1名を医療法人愛生会浜野介護医療院（七尾市津向町） 全国社会福祉協議会からの要請</p>

社会福祉法人 敬愛会 事業実績一覧

令和5年度 R5年4月~R6年3月

特別養護老人ホーム シクラメン	定員	利用率	内訳	支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均 介護度	延人数	前年度比	
当年度	70	98.4%	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	12.7%	45.6%	41.7%	4.3	25208	102%	
前年度	70	97.5%	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	13.5%	41.5%	45.0%	4.2	24654	100%	
当年度内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延人数	2086	2128	2099	2147	2135	2068	2109	2100	2126	2082	1973	2155	25208
稼働率	99%	98%	100%	99%	98%	98%	97%	100%	98%	96%	97%	99%	98.4%
入所者数	0	2	1	1	1	3	3	0	2	0	6	1	20
退所者数	1	2	1	1	1	3	2	1	2	4	2	1	21

ショートステイ シクラメン	定員	平均/日	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	前年度比	
当年度	10	7.9	0	0	47	187	368	930	781	583	2896	113%	
前年度	10	9.3	0	5	17	217	509	781	746	290	2565	100%	
当年度内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延人数	260	247	212	249	227	241	260	255	257	168	253	267	2896
稼働率	87%	80%	71%	80%	73%	80%	84%	85%	83%	54%	87%	86%	79.1%

グループホーム しくらめん	定員	利用率	延人数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均 介護度	前年度比	
当年度	9	99.7%	3283	0	0	580	473	1523	666	41	2.7	108%	
前年度	9	98.9%	3046	0	0	760	580	1352	323	31	2.4	100%	
当年度内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延人数	270	273	270	279	279	270	274	270	279	279	261	279	3283
稼働率	100%	98%	100%	100%	100%	100%	98%	100%	100%	100%	100%	100%	99.7%
入所者数	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
退所者数	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3

グループホームデイ しくらめん	定員	平均/日	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	前年度比	
当年度	3	1.7	0	0	0	108	43	114	0	0	265	108%	
前年度	3	2.1	0	0	0	13	214	0	19	0	246	100%	
当年度内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
稼働日数	12	14	13	13	13	13	13	13	13	12	12	13	154
延人数	23	20	11	29	28	30	31	25	14	13	20	21	265
稼働率	64%	48%	28%	74%	72%	77%	79%	64%	36%	36%	56%	54%	57.4%

デイサービスセンター シクラメン	定員	平均/日	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	前年度比	
当年度	40	24.5	0	74	598	2841	1717	1605	409	316	7560	101%	
前年度	40	24.2	0	262	586	2642	1984	1126	735	147	7482	100%	
当年度内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
稼働日数	25	27	26	26	27	26	26	26	25	24	25	26	309
延人数	588	647	635	636	645	634	641	634	637	625	609	629	7560
稼働率	59%	60%	61%	61%	60%	61%	62%	61%	64%	65%	61%	60%	61.2%

シクラメンヘルパーセンター	平均介護度	自立	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	前年度比	
当年度	2.5	0	0	196	605	1663	908	1255	1018	913	6558	98%	
前年度	2.2	0	0	313	441	1752	982	726	1532	948	6694	100%	
当年度内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
延回数	531	615	554	527	488	462	537	553	529	554	541	667	6558
実人数	46	52	50	47	47	41	46	46	46	44	43	49	557

居宅介護支援事業所シクラメン	平均支援員数	加算	プラン/人	プラン作成率	新規件数	終了件数	事業プラン	支援プラン	介護プラン	プラン計	プラン計前年比	プラン/人前年比	
当年度	4.5	Ⅱ	27.5	71%	49	46	18	204	1265	1487	100%	100%	
前年度	4.5	Ⅱ	27.5	71%	40	32	0	261	1227	1488	100%	100%	
当年度内訳	集計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象	18			2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
要支援受託	204	19	18	22	20	19	19	16	18	13	13	14	13
要介護1	512	45	42	45	42	38	39	41	44	43	48	44	41
要介護2	336	26	25	22	22	26	28	29	33	30	32	31	32
要介護3	246	23	20	23	22	20	21	19	23	21	19	17	18
要介護4	95	7	8	8	6	10	9	7	8	7	9	8	8
要介護5	76	8	8	10	8	7	6	6	5	5	4	3	6

シクラメン包括支援センター	相談人数	相談件数	(訪問)	(来所)	(電話)	実態把握	ケア会議	予防教室	教室延人数	事業プラン	前年度比
当年度	110	439	171	30	237	71	6	39	647	3	109%
前年度	112	404	138	21	245	69	2	38	664	2	100%

デイサービスセンター大井シクラメン	定員	平均/日	計画/日	達成率	実稼働率	(新規利用)	(中止廃止)	事業対象	要支援	要介護	合計	前年度比	
当年度	25	14.9	17.5	85.3%	59.7%	28	27	63	186	4839	5088	98%	
前年度	25	16.4	18	91.1%	65.6%	15	18	104	473	4610	5187	100%	
当年度内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	26	26	24	25	26	341
延人数	432	453	471	438	392	394	429	426	414	398	411	430	5088
稼働率	58%	58%	63%	57%	51%	53%	55%	66%	64%	66%	66%	66%	59.7%
飯地シクラメン													
飯地(再掲)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
稼働日数	8	9	9	9	9	8	9	9	8	8	8	8	102
延利用人数	25	24	28	22	23	24	24	25	22	12	18	23	270
計画(5名/日)	63%	53%	62%	49%	51%	60%	53%	56%	55%	30%	45%	58%	53%

ショートステイ大井シクラメン	定員	平均/日	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	前年度比	
当年度	13	11.1	0	0	52	579	1019	1333	449	648	4080	101%	
前年度	13	11.0	0	0	75	276	1059	1433	384	806	4033	100%	
当年度内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延人数	348	353	358	364	339	343	351	360	320	320	277	347	4080
稼働率	89%	88%	92%	90%	84%	88%	87%	92%	79%	79%	73%	86%	85.8%

令和5年度 事業報告書

事業部門		特別養護老人ホーム シクラメン	
基本方針			
①	事業概況 総括	利用者本位のサービスを提供できる様、ユニットや委員会の取り組みを通じて職員の資質向上の取り組みを継続してきた。個々の職員が利用者の望む暮らしの実現のため、自身の役割を意識し、業務に目標を持って取り組む事で利用者の生活の質が向上するように取り組んできた。 職員の目標達成状況には差はあるが、年度末の個別面談を通じて次年度に繋がる取り組みの振り返りと役割の確認ができた。職員が目標を意識しながら業務を行う事で利用者へのサービスの質も向上するため取り組みを継続していきたい。	
②	サービス向上 取り組み 行事・企画	利用者、利用者家族に満足度調査の実施 () 内R4年度 家族 45家族 全ての項目「満足している」 平均 78.4% (67.7%) 利用者 25名 // 平均 42.1% (45.4%) (利用者満足度 職員の言葉使い・感染対策中の面会・行事の項目で低下がみられた) 4月 3、17日 花見・寿司屋台 10月 1日 シクラメン開所記念 6月 6、9日 ほう葉寿司 12月 18、21日 クリスマス、忘年会 8月 27日 納涼夏祭り 2月 3、9、13日 節分・鍋会食 9月 17日 施設敬老会	
		項目	取組み結果
③	職員の 資質向上	1	研修・勉強会の状況 6月・11月 感染症予防(研修・訓練) 7月・10月 身体拘束・事故防止 8月 権利擁護 9月 看取り研修 上記内容について全職員対象に研修会実施(資料配布を含む)
		2	人材育成・資格取得 介護支援専門員実務研修受講試験 1名合格 介護支援専門員 1名登録
④	業務の円滑化 環境整備	1	会議・各種委員会 委員会活動 (1回/月 実施) 食事委員会 事故防止委員会 教育・研修委員会 記録委員会 医療ケア連携委員会 看護師会 感染対策委員会 褥瘡対策委員会 医療安全委員会 定例会議 (1回/月 実施) リーダー会 ユニットカンファレンス ユニット会
		2	業務改善の取組み 業務の効率化、ペーパーレスのため記録の電子化システムを導入 記録業務の時間短縮、情報共有に効果あり。
⑤	運営管理 危機管理	1	保健衛生管理 コロナ感染症対策マニュアルを見直し。感染症を正しく恐れ、適切な対策を行いつつ生活環境、機能維持に配慮した対応。
		2	防災管理など BCP(事業継続計画)の策定と見直し。内容に基づいた訓練を実施する。(感染症対策・非常食提供訓練の実施)
		3	リスクマネジメント 介護事故:82件(内入院等重大事故3件) 転倒49件、外傷21件、与薬ミス10件、その他2件 ヒヤリハット:430件 事故防止委員会に毎月第三者委員が出席し、ヒヤリハット・事故報告の分析と対策の検討を行う。
		4	苦情対応・解決 苦情件数 入所利用者 3件 職員のケアに関わる事項 ショート利用者 1件 //
⑥	福祉活動 各種連携	1	地域への貢献・連携 保育園、小中学校との交流会など感染症対策のため実施できず。 認知症サポーター養成講座へ講師派遣(介護職員1名)
		2	家族・関係者の連携 感染症対策のため窓越しや指定の場所で面会を実施。 (面会人数2名、面会時間10分 年間で約760回実施)
⑦	今年度の成果 来年度の課題 今後の方向性	外国人人材の指導 ベトナム人実習生3期生2名が夜勤業務開始。ベトナム人実習生4期生2名受け入れ。 インドネシア特定技能2名を受け入れ(R5年度末、ベトナム人6名・インドネシア4名) 介護ロボットの導入検討 職員の負担軽減のため介護ロボットの導入(Hag-ハグ-)を検討。業者に来所してもらい デモ実施。R6年度レンタル試用行い実用性を確認する。 増床の準備 R6年度末までに15床の増床を行うため、業務の見直しと人員配置を検討する。 職員の人材育成 法人の中長期運営ビジョンにある「職員が定着し育つ教育」「職員を伸ばす指導・研修」 「職員を活かす人事管理」を意識し、人事育成に取り組む。(個人目標の設定と取り組み)	

令和5年度 事業報告書

事業部門		デイサービスセンター	
基本方針			
①	事業概況 総括	ICT 機器を本格的に導入し運用した。タブレット入力に伴うシステム構築を随時行い効率よく質の高い記録ができるようすすめた。慣れない面あり全て使いこなせていない状況ではあるが、ペーパーレス化を図ると共に対応時間の削減につなげられた。また利用者数が減少する一方で、これまで通りの介護職員の配置ができず役割分担等の見直しが必要となった。本年度、十分な研修機会を設けられなかったが、引き続き人材育成を図ると共に利用者の個別ケア充実を取り組む必要がある。また新型コロナウイルス感染症も5類となったが、対策を継続することで休業することなく利用者が安心してご利用いただけるように努めることができた。リスクマネジメントに関して、ヒヤリハット報告の奨励を図り気づきの機会を増やし、重大な事故の防止に努めることができた。ただ、送迎車両事故が多く経験も重要であるが心理的要因が大きいため、余裕をもって運転できるよう意識づけを行った。不適切ケアについて、虐待防止につながらないよう毎月連絡会にて声かけをした。まだ利用者・家族よりご意見をいただくこともあり、引き続き不適切ケアについて全職員が心がけ、利用者が安心して利用できるように努める必要がある。	
②	サービス向上 取り組み 行事・企画	毎月、翌月飾る季節に合わせた工作を提供し活動していただくことができた。毎月購読している「月間デイ 10月号」に取り組みが掲載された。まだ一部ではあるが、個々の趣味に応じた余暇活動を提供することができた。月1回、認知症ケア推進に向けた「想い出話の会」実施。回想法を活かしながら会話を引き出すことができている。 広報誌：年3回発行（利用中の活動の様子見える化を図る） 余暇工作：4月「鯉のぼり」5月「あじさい」6月「ひまわり」7月「七夕飾り」8月「月見」9月「ぶどう」10月「紅葉」11月「クリスマス」12月「干支(辰)」1月「梅」2月「ひな祭り」3月「桜」 行事：8月「デイ夏祭り」10月「五平餅会」12月「お楽しみ会」	
		項目	取組み結果
③	職員の 資質向上	1	研修・勉強会の状況 『介護職員による高齢者虐待を含む不適切ケア防止対策』 中部学院大学オンデマンド研修 各連絡会にて視聴 県デイ協東濃支部研修会(11/24)
		2	人材育成・資格取得 「業務目標・評価シート」を活用し目標をもって日々取り組む 個別面談を通して課題の共有
④	業務の円滑化 環境整備	1	会議・各種委員会 デイ運営会議、専門職連絡会：情報共有・業務改善協議 リスクマネジメント会議：事故・虐待防止等について協議 モニタリング会議：利用者の計画見直し協議 認知症ケア推進会議：想い出話の会、認知症ケアについて協議 広報委員会：広報誌発行の企画準備 食事委員会(法人) ・看護師会(法人) ・BCP(法人)
		2	業務改善の取組み ICT 導入によりタブレット記録を推進。 記録の充実とペーパーレス化を図る
⑤	運営管理 危機管理	1	保健衛生管理 利用者手指消毒(来所時・食前・おやつ前) テーブル・手すり等の消毒 ・乗車前検温・マスク着用・パターション設置 職員出勤前検温、抗原検査(2回/週)
		2	防災管理など BCP 会議(1回/月)法人・事業所 研修企画・計画見直し 非常災害対策訓練 10/26 停電時対応(リーフ電源供給)11/22 災害時対応(机上)
		3	リスクマネジメント 介護事故:33件(内入院等重大事故0件) 転倒15件、外傷15件、与薬ミス2件、その他3件 ヒヤリハット:248件 →リスクマネジメント会議にて協議 車両事故:17件 →安全運転講習(12/13)
		4	苦情対応・解決 苦情:5件 いずれも利用者・家族への言葉かけが不適切であり謝罪と職員への周知を図る。また毎月連絡会にて不適切ケアについて周知する。朝礼時、禁句ワード確認継続
⑥	福祉活動 各種連携	1	地域への貢献・連携 介護予防事業「あんきなくらぶ」への参画 認知症サポーター養成講座 講師、地域ケア個別会議への参加
		2	家族・関係者の連携 生活相談員を中心とした相談と情報共有(随時) 満足度調査の実施
⑦	今年度の成果 来年度の課題 今後の方向性	【成果】ICT 機器導入による記録の充実(情報共有)とペーパーレス化を図ることができた。 【課題・方向性】タブレット活用し記録の質を高め、さらなるペーパーレスと業務効率を図り個別ケアに向けた利用者個々の評価をすすめる。利用者減少に伴う職員配置と役割分担を引き続き協議しつつ不適切ケア防止を含めた人材育成を図り質の高い個別ケアを目指す。	

令和5年度 事業報告書

事業部門		中津川市シクラメン地域包括支援センター	
基本方針			
①	事業概況 総括	<p>地域包括ケアシステムの深化、推進、地域共生社会実現に向けた中核機関として、体制強化と連携体制づくりを進めた。多岐に渡る業務内容は全てそこに集約されていくことを地域で実感、体感しながら事業を行った。</p> <p>介護予防教室、認知症施策では、新型コロナウイルス感染症 5 類移行後も感染症予防に心掛け、各事業の目的、計画に沿った内容で事業を実施。人生会議(ACP)の普及啓発、減塩講座を開催。さらには地域住民が講師、主役となり役割を發揮する機会を新たに設けることができた。</p> <p>介護予防ケアマネジメントでは、前年度より人数を増やし事業対象者のプランを作成。介護予防に関わる担い手の活動継続と育成では、養成研修は開催できなかったものの、現担い手と共に定期的な学習や実践の機会を通して、介護予防の種まきを地域で行うことができた。困難ケース対応、地域課題への対応では、フォーマルだけでなく、生活支援をはじめとしたインフォーマルサービスとの連携、担い手との関わりを持ち、ご本人の選択、意向に沿った支援に努めた。</p> <p>人員配置が限られている中での体制強化、連携体制作りにおいては、阿木地域包括支援ネットワーク会議(通称 ごちゃまぜ会議)、相談協力員懇話会、地域ケア会議(困難ケース対応型、自立支援型)の開催をはじめ、全ての事業において今年度も多職種連携を行い、体制維持、強化を図ることができた。</p>	
②	サービス向上 取組み 行事・企画	<p>コロナ禍以前に実施していたカフェについては約 3 年半ぶりに再開した。全ての事業実施において、地域のニーズなどに応えながら取り組むことができた。</p> <p>◆広報＝(a) 事業所機関紙発行：年4回発行(阿木全戸、関係機関へ活動の周知を図った) (b) ホームページでの活動告知、報告：随時、(c) 地域情報の活用</p> <p>◆事業＝(a) 介護予防ケアマネジメント業務①介護予防教室：39 回 ②事業対象者プラン：3 件 ③阿木いきいきリハビリ体操指導士会定例会：6回 (b) 総合相談支援業務①阿木地域包括支援ネットワーク会議・事務局会議：2 回、分科会：3 回、②相談協力員懇話会：1 回 (c) 認知症高齢者、家族支援業務①介護者の集い：4回、②あぎオレンジカフェ：2 回、③認知症サポーター養成講座：3 回 (d) 地域ケア会議：6回 (e) 配食サービスアセスメント：12 件</p>	
		項 目	取 組 み 結 果
③	職員の 資質向上	1 研修・勉強会の状況	業務に関わる研修会、会議(オンライン、集合形式含)での学習。
		2 人材育成・資格取得	各種研修会(オンライン、集合形式含)での学習。
④	業務の円滑化 環境整備	1 会議・各種委員会	法人内(BCP 委員会、衛生委員会、相談員連携会議等)外(支援センター一部会、包括連絡会、主任 CM 連絡会等)への出席、学習。
		2 業務改善の取組み	上記委員会、会議での改善、向上にむけた学習、取り組みの実施。
⑤	運営管理 危機管理	1 保健衛生管理	定期抗原検査、検温等の感染症予防の実施及び事業参加者への感染症予防の普及啓発。
		2 防災管理など	BCP 委員会への出席、机上訓練の実施他、講演会での学習等。
		3 リスクマネジメント	感染症予防の創意工夫をした事業の実施。部署代表者会議、相談員連携会議及び市高齢支援課での報告、協議等。
		4 苦情対応・解決	包括センター長、居宅管理者と必要に応じた協議、市高齢支援課への相談等。
⑥	福祉活動 各種連携	1 地域への貢献・連携	阿木地域包括支援ネットワーク会議(通称 ごちゃまぜ会議)の各種取組み、NPO 法人阿木ふるさと福祉村の事業への協力等。
		2 家族・関係者の連携	家族会の開催、阿木地域包括支援ネットワーク会議(通称 ごちゃまぜ会議)の各種取組みを通じた多職種連携。
⑦	今年度の成果 来年度の課題 今後の方向性	<p>成果の 1 つとして、本人発信(介護予防、認知症施策)の機会、関わりが持てたことが挙げられる。今後も、住み慣れた地域でその人らしい生活の継続を意識し、自立生活の支援、その為の地域づくりを実践していくと同時にセンターの情報発信を継続しセンターの周知を行っていく。</p>	

令和5年度 事業報告書

事業部門		居宅介護支援事業所シクラメン	
基本方針			
①	事業概況 総括	<p>ご利用者が住み慣れた地域で、その人らしく、安心して生活を送ることが出来るよう介護支援専門員として公正、中立の立場で相談支援活動に努めました。</p> <p>県居介協の研修や他法人との合同研修会、中津川市・恵那市ケアマネ部会等での研修を通し、自己研鑽に励み、資質の向上に努めました。</p> <p>生活支援コーディネーター、阿木診療所や他の医療機関との連携を密に行い、きめ細かなサービスが提供できるようにし、介護保険サービスだけでなく、医療サービスやインフォーマルサービスを利用して、ご利用者が自宅での生活を継続できるよう支援しています。</p> <p>朝礼や週1回の居宅会議で職員間の情報交換をしたり、課題の共有ができ、相談がよりスムーズに図れるようにしています。</p>	
②	サービス向上 取組み 行事・企画	<p>県居介協、中津川市・恵那市ケアマネ部会等が主催する研修会に複数人が参加し、居宅会議で研修の伝達をして、全員の資質向上を図っています。</p> <p>阿木診療所や生活支援コーディネーター、民生委員との連携会議を通して、阿木地域内での顔の見える関係作りをしています。</p> <p>中津川市ケアマネ部会役員として会の企画、運営を行いました。</p> <p>月1回恵那市ケアマネ連絡会、隔月中津川市ケアマネ部会・主任ケアマネ連絡会 6・10月中津川市虐待防止研修会、9月中津川市地域医療ジャンボリー 県居介協 4月介護保険制度改正先読み研修会、5月春季研修会、7月質の向上研修 10月秋季研修会</p> <p>月1回BCP委員会、7・10月地域ケア個別会議事例提供、4～7月業務改善会議 5月阿木地区要配慮者マップ作り、2月防災ボランティアリーダー講座、3月防災講演会 6・1月阿木診療所とのカンファレンス、7・11月法人間合同研修 3月緩和ケア研修、認知症ケア研修</p>	
		項目	取組み結果
③	職員の 資質向上	1 研修・勉強会の状況	上記研修会、勉強会、会議、講演会等に参加し、参加後居宅会議で伝達を行っています。 他法人との合同研修によりスーパービジョンを行っています。
		2 人材育成・資格取得	介護支援専門員法定研修受講 専門研修Ⅰ 1名 主任更新研修 1名
④	業務の円滑化 環境整備	1 会議・各種委員会	週1回居宅会議において、情報共有、会議や研修の伝達を行う他、毎朝の朝礼にて情報共有を行っています。 在宅部門の業務改善会議、BCP委員会等法人内の会議等に参加しています。
		2 業務改善の取組み	居宅会議等で情報共有することで、他のケアマネ担当のご利用者への対応をスムーズに行うことができています。 業務の効率化を図るために業務の手順マニュアルを作成。
⑤	運営管理 危機管理	1 保健衛生管理	毎朝の検温継続
		2 防災管理など	阿木地区要援護者マップ作りに参加、ハザードマップを確認し、危険地区の独居・高齢世帯の自宅を全員で確認。 停電時のリーフの使用方法を確認、防災講演会等に参加。 月1回BCP委員会に参加し、法人内での連携を図っています。
		3 リスクマネジメント	書面で確認し、伝達ミスをなくす、入力事項等二重チェックを行う、二人で対応する等しています。
		4 苦情対応・解決	苦情があった場合は管理者がご自宅を訪問し、話を伺い、意向を確認しています。必要に応じて担当者の変更をします。
⑥	福祉活動 各種連携	1 地域への貢献・連携	要援護者マップ作り、阿木地域包括支援ネットワーク会議に参加したり、阿木診療所や生活支援コーディネーターと連携を図っています。
		2 家族・関係者の連携	月1回のモニタリング訪問時にご家族等とも面談しています。 各サービス事業所との連携もサービス担当者会議などを通して行っています。
⑦	今年度の成果 来年度の課題 今後の方向性	<p>今年度は災害関連の研修会が多くあり、積極的に参加することができました。災害対策としてハザードマップの確認や危険区域のご利用者宅の確認なども行うことができています。</p> <p>来年度は地域との顔の見える関係作りを行えるよう、包括支援センターの事業に参加していきたいと思っております。</p>	

令和5年度 事業報告書

事業部門		ヘルパーセンター	
基本方針			
①	事業概況 総括	<p>温もりを届けるをモットーに利用者様の思いを尊重し寄り添い、利用者様の能力に応じた日常生活を送る事が出来るよう、環境に応じて、排泄交換・清拭・食事介助・入浴・調理・掃除等、身体と生活全般にわたる援助を行いました。</p> <p>傾聴にも心がけ、ケアマネ、訪問看護に連絡を行い連携も密に行った。</p> <p>看取りの訪問の依頼も多く、研修を行い、訪問看護より指示を仰ぎながら家族に負担の無いように訪問に心がけた。</p> <p>コロナウイルス感染症は5類となったが、検温、身体介護の訪問時フェイスシールドの着用は継続しその他の染症にも気を付けて訪問を行いました。</p> <p>訪問地域…阿木、恵那、岩村、山岡、武並、飯地、中野方、毛呂窪、坂本</p>	
②	サービス向上 取組み 行事・企画	<p>毎月定例ミーティングを行った。</p> <p>研修も毎月行い訪問に対する心構えと接遇を意識するようにした。</p>	
		項目	取組み結果
③	職員の 資質向上	1 研修・勉強会の状況	事業所内研修 10回実施（その内災害研修会2回）
		2 人材育成・資格取得	研修を毎月実施。（看取りの時ヘルパーの役割、ヘルパーの制度について、薬と服薬について、高齢者の健康管理、プライバシーについて、接遇について等）
④	業務の円滑化 環境整備	1 会議・各種委員会	定例ミーティング毎月実施。
		2 業務改善の取組み	職員の専門性、人間性を第一に、会議でのケース検討を繰り返し実施。
⑤	運営管理 危機管理	1 保健衛生管理	腸内細菌検査 年2回 4月・10月実施 健康診断 年1回 9月実施
		2 防災管理など	令和5年8月・令和6年1月防災研修実施。
		3 リスクマネジメント	介護事故:0件 感染症や訪問時の事故等において常に五感で察知できる様心掛け、確認も行った。
		4 苦情対応・解決	苦情にならないよう利用者様、家族に良く傾聴を行い、ヘルパー全員で周知を行いケアマネにも連絡し連携を行った。
⑥	福祉活動 各種連携	1 地域への貢献・連携	地域における在宅での生活を支える為に利用者様に合わせ、地域関係機関と連携を実施。
		2 家族・関係者の連携	利用者様の異変等に素早く気づき、家族、ケアマネ、訪問看護、関連事業所と連絡を取り連携を行った。
⑦	今年度の成果 来年度の課題 今後の方向性	<p>シクラメンヘルパーセンターは特別地域加算を頂いている為、他の事業所より利用料が高いため、中々新規の依頼に繋がらないが、反面で研修を行い、知識を身に付けることで、対応の良さを理解して頂いた。</p> <p>令和6年も研修を多く行うなど、利用者様、ケアマネの信頼を得られるよう努力したい。</p>	

令和5年度 事業報告書

事業部門 基本方針		グループホーム・グループホームデイ	
①	事業概況 総括	<p>入所者、通所者共に感染対策を継続中で、制限のある中で行事を行った。外出行事は、ドライブは車中を中心とした。毎月一回以上のおやつ作りや昼食行事を、利用者の声を聞きながら、新しい試みもした。また、計画停電時や断水の際に、災害時対応として簡易トイレの使用やカセットコンロを使用して、食事の提供を行った。利用者の体調管理について、職員同行等で受診同行やレントゲン撮影等の対応を行った。インフルエンザの感染者があり、今後も感染症対策を継続していく必要がある。</p> <p>ワイズマン活用による、記録業務のデータ化を始めた為、ペーパーレス化を図った。今後の記録業務にも、写真撮影でのデータ作り等でも活かしたい。</p> <p>【グループホームデイサービス】 定期利用者の確保が困難（体調不良・家庭の事情により）であった。今後の課題とする。また、入所者のインフルエンザ感染があり、一時的にデイサービスの休止日が生じ、利用率の減少に繋がってしまった。</p>	
②	サービス向上 取組み 行事・企画	<p>レクリエーション活動の工夫（PC 使用で頭の体操や身体を動かすことを意識して行った）筋力低下の予防の為、歩行する機会を作るようにした。DVD での映像や音楽を楽しんだ。</p> <p>GH 新聞の発行 1 回/月（両面印刷で利用者様の様子をご家族に伝わる様に工夫した。） 1 年に 2 回の「家族会」を中止したが、代用行事として職員と利用者で工夫した。（写真交流・職員の劇や踊りで楽しんで戴いた。）</p>	
		項目	取組み結果
③	職員の 資質向上	1 研修・勉強会の状況	GH 会議と同日開催で研修会を行った。（主に web 研修） 法人看護師へ講師依頼し感染症対応について実技・研修をした。 BCP 委員会の「災害時対応」机上訓練の参加をした。
		2 人材育成・資格取得	初任者研修の受講、資格取得 1 名。 法人の「業務目標・評価シート」を活用し、個々の目標設定を行い、取り組みました。次年度以降も継続していきます。
④	業務の円滑化 環境整備	1 会議・各種委員会	GH 会議を開催した（1 回/月）。BCP 委員会への参加（1 回/月） 各担当者で役割分担を行った。（委員会の代用） 運営推進会議（1 回/2 カ月）では意見交換を行った。
		2 業務改善の取組み	GH 会議にて毎月一回議題として挙げて検討した。 また、1 回/週のカンファレンスで、問題点抽出を行った。
⑤	運営管理 危機管理	1 保健衛生管理	出勤時の検温の実施。3 月初め迄抗原検査の実施（2 回/週） ワクチン接種（コロナ・インフルエンザ予防接種）の実施（随時）。 検便の実施（1 回/年・8 月）。
		2 防災管理など	災害対策として備品整備（暖房器具の購入等）。 施設の断水、停電作業日に簡易トイレの使用やカセットコンロ使用で昼食準備をした。（非常食としてカップ麺使用）
		3 リスクマネジメント	介護事故:10 件（内入院等重大事故 0 件） 転倒 10 件 ヒヤリハット:36 件 再発防止の為、事故報告・ヒヤリハット報告を会議で取り上げて検討・周知した。また、運営推進会議（1 回/2 ヶ月）での報告を行い意見交換した。新規入所者の「徘徊」の対策を図った。
		4 苦情対応・解決	苦情ではないが、満足度調査での意見を運営にいかすよう工夫した。（GH 新聞の掲載に取り入れた）
⑥	福祉活動 各種連携	1 地域への貢献・連携	阿木高校から作品キットを使った交流をした。「認知症サポーター」の講師で阿木小学校へ訪問した。「高齢者交通安全大学校」閉校式でのイベントに参加。「吊るしびな」見学に参加。
		2 家族・関係者の連携	必要に応じてご家族に相談し連携を図った。（体調不良時その他） 主治医への連携、市役所への連携・連絡も随時行った。
⑦	今年度の成果 来年度の課題 今後の方向性	<p>IT 化により、タブレット入力に少しずつ慣れてきた。（ペーパーレスに繋がった） 感染症対策で、以前の様に出来ない事も多いが、新しい行事等にチャレンジ出来た。 新規入所者「徘徊対策・対応」の検討を通して様々な工夫をした。</p> <p>【課題】個別ケアの充実を今後も継続していきたい。・来年度は、各自の資格取得等、積極的に取り組んでいきたい。（個々のモチベーション向上を目指したい）。 デイ利用者の安定的な確保を目指す。引き続き安心感のある対応を目指して行きます。</p>	

令和5年度 事業報告書

事業部門		デイサービスセンター大井シクラメン	
基本方針			
①	事業概況 総括	<p>当事業所の主要な魅力は、機能訓練プログラムの提供だったが、所属の機能訓練指導員が8月から体調不良により休職し、機能訓練プログラムが中止となった。これにより、当事業所の特色が失われ、集客率が低下したと考えられた。（介護職員による体操は毎日実施されていたが、これは主要な特色とはならなかった。）</p> <p>この機能訓練プログラムの代替として、10月からは「夕食付き延長利用サービス（送迎あり）」を提供することにした。これは、以前の延長利用サービスと異なり、家族の迎えが必要ではなくなった。この変更により、延長利用する利用者数はR5年度末で6人となり、集客に貢献したと思われる。</p> <p>また8月頃から、日曜日の利用者数が減少し始め、回復の見込みがないため、11月から日曜日の営業を休止した。（以前は15人弱の登録利用者があり、介護職員4人で営業をしていたが、8月頃から10人以下の利用数となり、少ない時は4人という日もあった。）</p> <p>臨機応変な受け入れを行っていることから、ケアマネージャーからの信頼は高いと自負している。今後は、利用者満足度が高められる特色を強化していきたい。</p>	
②	サービス向上 取組み 行事・企画	<p>機能訓練指導員に代わり介護職員による機能訓練体操の実施。（9月～） 送迎付き延長利用サービスの実施。（10月～）</p> <p>広報発行：大井5回（家族や関係機関へ活動の周知を図った） ：飯地4回（地域全世帯へ集客と活動の周知を図った）</p> <p>行事：8月納涼祭は新型コロナウイルス感染拡大により中止</p>	
		項目	取組み結果
③	職員の 資質向上	1 研修・勉強会の状況	施設内研修、3回実施 フォローアップ研修（インターネット配信サービス）の活用
		2 人材育成・資格取得	認知症基礎研修の受講（対象1名） 介護福祉士資格取得（1名）
④	業務の円滑化 環境整備	1 会議・各種委員会	毎月、全職員対象の会議の他、各種委員会をそれぞれ開催
		2 業務改善の取組み	R5年度 ICT 導入支援事業費補助金を利用し、介護ソフトを導入した。（R6年4月より旧ソフトから移行）
⑤	運営管理 危機管理	1 保健衛生管理	前年度から続く感染対策を継続実施 県の支援による抗原定性検査キットで、予防的検査の実施
		2 防災管理など	防災倉庫（R5年3月設置）に非常時用物品を備蓄
		3 リスクマネジメント	介護事故:8件（内入院等重大事故1件） 転倒6件、外傷0件、与薬ミス1件、その他1件 ヒヤリハット:22件 ヒヤリハットおよび事故報告書を活用し、事故予防への取り組みを実施
		4 苦情対応・解決	苦情2件あり。（センター長および相談員が対応にあたり、解決に努めた。）
⑥	福祉活動 各種連携	1 地域への貢献・連携	恵那市社会福祉法人等連絡会への参加 ➡「フードバンクキャンペーン（12/1～1/15）」実施
		2 家族・関係者の連携	担当者会議の参加や家族からの問合せに対応 担当ケアマネージャーへの状態報告を積極的に実施 飯地地区民生委員会議への出席
⑦	今年度の成果 来年度の課題 今後の方向性	<p>今年度の成果：臨機応変な受け入れ（時短や延長利用）が出来るようになった。</p> <p>来年度の課題：主要となる特色をアピール。また、利用時の楽しい過ごし方を構築する。</p> <p>今後の方向性：地域に出て行楽し、生きる楽しみを提供する。（介護保険外サービス）</p>	

令和5年度 事業報告書

事業部門		ショートステイ大井シクラメン	
基本方針			
①	事業概況 総括	<p>ショートステイへの需要は高まり、新規の問い合わせも増えている。増床が可能であれば、さらなる利用者数の増加が期待される。</p> <p>ただし、利用者の介護度も高まっており、介護負担が増大しているため、現状の業務を見なおさず何も行わなければ、重大な事故や職員の離職が起こりうる可能性があり、『生産性向上』が重要な鍵であると考える。</p> <p>その取り組みの一環として、県の補助金を活用してインカムを導入した。今後、職員間の連携が向上することが期待される。</p> <p>R5年度は好調な利用率であったが、冬季の利用率の低下は、新型コロナ感染拡大による利用制限の影響であり、やむを得ないものであった。</p> <p>当事業所において、初めて外国人職員（ベトナム人特定技能実習生）を受け入れた。（阿木特養からの異動）最初は言葉の壁などが心配されたが、大きなトラブルもなく一人前の勤務ができるようになった。これを機に、今後も新たな外国人職員の受け入れを検討し、職員不足に備えていく。</p>	
②	サービス向上 取組み 行事・企画	<p>季節感のある空間づくり。（月ごとのテーマで、利用者と共に壁飾りを作成） 利用者の出入りが激しいため、利用者個々の引継ぎシートを作成。（重要な引継ぎが途切れてしまわないよう、情報をピックアップして確認をし易くした）</p> <p>広報発行：大井5回（家族や関係機関へ活動の周知を図った） ：飯地4回（地域全世帯へ集客と活動の周知を図った）</p> <p>行事：8月納涼祭は新型コロナ感染拡大により中止</p>	
		項目	取組み結果
③	職員の 資質向上	1 研修・勉強会の状況	施設内研修、3回実施 フォローアップ研修（インターネット配信サービス）の活用
		2 人材育成・資格取得	認知症基礎研修の受講（対象1名） 介護福祉士資格取得（1名）
④	業務の円滑化 環境整備	1 会議・各種委員会	毎月、全職員対象の会議の他、各種委員会をそれぞれ開催
		2 業務改善の取組み	R5年度 ICT 導入支援事業費補助金を利用し、介護ソフトを導入した。（R6年4月より旧ソフトから移行） R5年度介護ロボット導入促進事業を利用し、インカムを導入した。（2月～）
⑤	運営管理 危機管理	1 保健衛生管理	前年度から続く感染対策を継続実施 県の支援による抗原定性検査キットで、予防的検査の実施
		2 防災管理など	防災倉庫（R5年3月設置）に非常時用物品を備蓄
		3 リスクマネジメント	介護事故:16件（内入院等重大事故1件） 転倒11件、外傷4件、与薬ミス1件、その他1件 ヒヤリハット:12件 ヒヤリハットおよび事故報告書を活用し、事故予防への取り組みを実施
		4 苦情対応・解決	苦情1件あり。（相談員が対応にあたり、解決に努めた。）
⑥	福祉活動 各種連携	1 地域への貢献・連携	恵那市社会福祉法人等連絡会への参加 ➡「フードバンクキャンペーン（12/1～1/15）」実施
		2 家族・関係者の連携	担当者会議の参加や家族からの問合せに対応 担当ケアマネージャーへの状態報告を積極的に実施
⑦	今年度の成果 来年度の課題 今後の方向性	<p>今年度の成果：インカムの導入・個別の引継ぎシートを作成し、情報共有を強化した。</p> <p>来年度の課題：現在の職員配置で、如何に効率よく業務を行うか。（生産性向上）</p> <p>今後の方向性：質の高いサービス提供…認知症重度の利用者でも対応可能 職員の満足度の向上…働きやすい職場、誇りがもてる仕事</p>	